

# ととろみち

cocoromichi

人間は神のような心と  
悪魔のような心を持っている。

継続は力なりと言う。  
一人の人間が継続できる年月は  
せいぜい三十年から五十年。  
千二百年とは、  
想像できない長い年月である。  
元広島市長である  
平岡敬氏は平和を語り続ける中で  
新たな生き方を問う。  
弥山開創千二百年を迎えた今年  
平岡敬氏の心に響くメッセージを  
スタートに、「ととろみち」は  
心豊かな社会の創造への歩みを  
皆さまと共に始めます。



大聖院・未来フォーラム

対談・1

ゲスト 平岡敬氏

# 子供たちには ファーストフードばかりではなく 季節や旬の味を知って欲しい。

**吉田** 今年は、弘法大師が弥山を開かれて、千二百年の節目の年に当たり、平岡様をはじめ皆様にご協力をいただき、当時の料理を復元した試食会にもお越しいただきました。平岡様も食に関する活動をしていらっしやいますね。

**平岡** 「悠々風土の会」といいます。「悠々」というのは「スロー」、「風土」は食物の「フード」という言葉にかけています。

**吉田** 具体的にはどのような活動をなさっていますか。

**平岡** 生産者には安全な食材を作っていたり、生活も成り立つように。消費者には、本当に美味しくて安全なものは何かを考えていただく。その両方を繋ぐ役割と、子供たちに、ファーストフードは



かりでなく、旬の味や土地ごとの違いを知ってもらう活動。そして「命を頂く」ということを思い起こしてもらいたいです。

**吉田** 私たちが修行をする時の食時（じきじ）作法に五観の偈（ごかののげ）があります。「この食べ物ができるまでの苦勞に感謝する」という偈で、食べ物をつくる苦勞や食べ物にはそれぞれ命があ

ると教えられていますが、そういうことを忘れて、平気で食べ物を残す人には驚かされます。

**平岡** 食べ物を粗末にすることは、私たちの生活の在り方や自然との関わりにも原因があるのかもしれないですね。

**吉田** 千里の行も足下に始まるといいますから、教育の第一歩は家庭。食事から生きるといふことを

# 対談・1

ゲスト 平岡敬氏

子供が自立していけるように  
することが本当の「愛」かも  
知れませんね。



学ぶことができます。私も戦後の豊かな時代の世代ですが、物が豊かになるにつれて心や自然の大切さを忘れてしまっているのでは。

平岡 ええ。自然に対しての畏れを私たちは失っています。自然は人間の力や科学では計り知れないもの。本来、人間は神のような心と、悪魔のような心を持つています。人は未熟なものだから悪魔のような心コントロールするため



にも、自然に対して謙虚でなくてはいけないと思う。

吉田 私どものお寺でも、自然を感じ、集団生活から何かを学んで欲しいと「小坊主の会」を行っています。今年六月には、大人も子供も成長するために、多くの方々と一緒に「未来づくりフォーラム」を宮島で開催しました。

平岡 それはいいですね。社会性というか、家庭の平和だけを求めるのではなく、子供が自立していきけるようにする事が、本当の「愛」かもしれませんね。

吉田 そんな中で、今私たちにできることは何でしょうか。

平岡 資源を大切にし、物を捨て

ない。同時に、人には親切であること。僕らはよく核兵器廃絶だとか平和だとか言いますが、その基本もやはり、物を粗末にしないとか物を浪費しないという当たり前のことが非常に大事なんです。そして、そろそろスピード信仰から脱しないこと。

## 平岡 敬

1927年生まれ。広島県出身。中国新聞社編集局長を経て、中国放送専務、同社長を歴任。1991年以降2期広島市長。中国・地域づくり交流会会長。ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト名誉会長。悠々風土の会会長。著書に、「偏見と差別」（未来社）「希望のヒロシマ」（岩波書店）他

## 吉田 正裕

1960年生まれ。広島県出身。種智院大学仏教学部及び仁和密教学院卒業後、真言宗御室派大本山大聖院勤務。1990年高野山真言宗真光院住職（現在も兼務）。1998年真言宗御室派大本山大聖院座主に着任。現在に至る。仏教のみならず、スポーツ、教育、町づくりなど幅広く活動。



**杓子に「命」再び。  
若き工芸師の挑戦。**

宮島の商店街のはぼ真ん中あたり。一軒の杓子の店がある。店の名も文字通り「杓子の家」。その店の一角で、シヤカシヤカとひたすら木を削る若者がいる。名を、宮郷厚樹。三十一歳。宮島伝統の杓子作りを始めて四年。手本は店

**弥山開創千二百年。  
ダライラマ法王来島。**

弘法大師によって開創された宮島・弥山は今年千二百年を迎え、さまざまな記念行事が開催されています。そのメイン記念事業で、



十四世ダライラマ法王による「開眼法要」「講演会」「法話会」そして、新しくできた弥勒堂において日本における最初の本格的な密教の伝授会「大灌頂会」などが、十一月三日から八日まで執り行われます。

## 宮島ルネッサンス 蘇る宮島文化と 新しき担い手の台頭。

### 宮島スポット



宮島大聖院

厳島神社裏手の滝の小路の突き当たり。階段を登ったところにある、宮島の古刹。空海開基と伝えられる真言宗御室派の大本山で、京都仁和寺との結びつきも深い。また、かつては厳島神社の別当寺として祭祀を行っていた厳島の総本坊である。